

十
教会巡礼
大洲聖公会

伊予大洲は愛媛県の西部に位置する盆地で、伊予の小京都と呼ばれる風光明媚な城下町である。このよ



のある町に明治の初めからキリストの福音の種が蒔かれて芽が出たのである。

うな古い歴史から居場所をもとめて彷徨ったが、その苦しい時に救いの手を差し伸べてくれたのが武田頼夫であった。

武田頼夫は一致大洲教会の信徒であったが、途中で聖公会に転籍して神戸で伝道に従事していた。その頃、かつての同胞から今後の身の振り方について相談があり神戸からケテルウエル司祭が伊予大洲に派遣され信徒宅にて聖公会の礼拝と集会が始まったのである。

大洲聖公会の前身は日本基督教一致大洲教会(現日本基督教団大洲教会)である。一致大洲教会は1880年代初期に伝道が開始され、1887年(明治20年)には日本基督教一致教会浪華中会に属する教会として認可されている。四国では高知教会(現日本基督教

大洲聖公会は太平洋戦争中、一時閉鎖となり、また戦後も牧師不在の時代が永く続いたが、それでも信徒は信仰を継承し続けている。わずかな羊の群れではあるが確実に主によって立てられた教会として現在も小高い丘の上から大洲の町を見守っている。

(司祭 芳我秀一)



倉敷聖クリストファー教会
「ほっこりカフェ」

倉敷聖クリストファー教会は2014年4月1日から教会と地域との関わり・地域に住む人々との繋がり、開かれた教会を目指して、近隣・近所の方が集まり、ほっこりして頂くことを目的に「倉敷ほっこりカフェ」を開設しました。



浜市の「福島ほっこりカフェ」を参考にして取り入れ、毎週水曜日(祝日等を除く)午後2時半～5時頃まで、開催しています。また、ほっこりカフェでは毎月(第5を除く)水曜日に第2部を設置し、毎月第1水曜日「ほめ言葉のシャワー」、毎月第2水曜日「聖書から人生を学ぶ」、毎月第3水曜日「幸せに生きるためにキリスト教的人生観」講話、毎月第4水曜日「聖歌を歌おう」を催しています。2017年10月末からは、仕事帰りの方々を対象に、毎月第4金曜日の19時から約1時間、ほっこりカフェ(夜の部)を開催し、新規の方との出会いや交流を目指しています。

ほっこりカフェは開設から3年以上が経ちました。徐々に分かってきたことは、大型看板の設置や定期的なポスター入れ替え、夜間時の看板点灯などが人々を呼び込み、絶大な効果があり、今後看板板に対して力を入れたいと思っています。

問題が何もないというわけではなく、メンバーが固定化しつつあり、マンネリ化を解消する必要があり、来会者やスタッフの人数の拡大、拡充が求められるという課題も多くあります。

私たちは今後に向けて、第1にほっこりカフェへの祈りを継続的にしていくことと自分の力ではなく、宣教は神様主導という信仰の原点を忘れず、開催していくこと。第2に教会ホームページを充実・活用すること。第3に失敗を恐れず、仮に失敗しても、また次の行動を起こすという考え方で、柔軟に何でも取り入れ、行動していくことを目指していきたいと思えます。

(倉敷聖)

クリストファー教会管理

司祭 平野一郎